

もくじ

むらまち情報〈笠置町〉	2
むらまち情報〈和束町〉	5
むらまち情報〈南山城村〉	8
きょういく	11
地域情報	17



第73号
2012.4

春らんまん



日本人の心の中にすっかり溶け込み、人々の心を癒してくれる桜。日本の桜百選の地笠置にも、ようやく桜の便りが届きました。「笠置の桜」は町の花であるソメイヨシノとヤマザクラが多く、例年4月上旬から中旬にかけて満開となり見ごろを迎えます。

鮮やかなピンク色に染まった桜の花や桜並木が織りなし、住民や訪れた観光客で賑わう風景は、笠置の春を告げる風物詩となっています。

満開の桜の下で花見を楽しむ観光客(笠置キャンプ場)

早春のいづみ路を満喫

いづみ路観光協議会ハイキング

三月二〇日、いづみ路ハイキング（主催…いづみ路観光協議会）が行われ、三十四人の参加者らが早春のいづみ路散策を楽しみました。集合場所のJR木津駅から加茂青少年山の家までバスを利用し、そこから歩いて当尾の石仏をめぐり、途中の無人農産物販売所である「つり店」に立ち寄りながら、岩船寺へと向かいました。岩船寺拝観後、南山城村で採れた新鮮な食材を使った弁当を賞味し、一路ゴールを目指しました。参加者は観光案内人のガイドに耳を傾け、時にはノルディックウォーキングを体験し、春の息吹を感じながら約十三kmのコースを歩きました。大阪、兵庫などからの参加者が多く、はじめて訪れたという人がほとんどでした。ゴールのわかさぎ温泉笠置いこいの館

ではゆったりお風呂に浸かり、つり店で買ったお土産と、いづみ路の思い出を持ってそれぞれ帰路につかれました。



↑当尾のつり店を楽しむ



↑ノルディックウォークも体験



←岩船寺の三重の塔を見上げるハイカー

3/20

さわやか会

3/8

三月八日、笠置さわやか会の閉講式と記念講演が笠置町産業振興会館で開かれました。式のはじめに規定の受講回数に達した方に修了書の授与が行われました。そのあと「音楽で解き明かす現代病」

と題して記念講演があり、鈴鹿隆之医学博士が、特技のひとつである音楽で、エレキギター、シンセサイザー、アコーディオンなどの楽器を使って、プロ並みの素敵な演奏をされました。満員となった



笠置さわやか会

音楽で解き明かす現代病
講師 鈴鹿隆之氏
講師 原 豊 鈴鹿 隆之 氏



会場はなごやかな雰囲気、音楽の合間にされる身近な医学の話にも熱心に耳を傾けていました。

人権の花を届けよう

昨年十月に人権擁護委員の方から頂き、児童が大切に育ててきた「人権の花」水仙が、このたびきれいな花を咲かせました。三月十三日に笠置小学校で人権の花の感謝状贈呈式が行われました。その後、綺麗に咲いた水仙をプレゼントするために、町内に住んでいる八十五歳以上の一人暮らしのお宅を訪ねました。児童は「いつまでもお元気で」と児童からの贈り物に皆さんの顔を



がほころんでい様子でした。



小学校避難訓練

三月四日、笠置小学校で、同校と相楽中部消防組合消防本部、相楽中部消防協議会構成の四市町村消防団（木津川市・笠置町・和束町・南山村）の合同訓練が行われました。この訓練は、笠置小学校の火災を教訓に火災予防意識の向上と火災を未然に防ぐことを目的に行われています。大規模火災が発生したとの想定で相楽中部消防協議会構成の四市町村の消防団に応援要請をうけ、合同で消火活動を行い消防本部と消防団の連携等を図ることができました。笠置小学校北側の山林から出火し、校舎に火が迫ってきているという想定で行われ、児童たちは、先生の指示

どおりにハンカチを口に当てながら、低い姿勢で非常階段を通って運動場に避難しました。その後、ポンプ車などが出動し、消防団員など約一三〇人が参加し、緊迫した雰囲気の中、素早い手つきでホースを伸ばし火点に向け放水訓練を行いました。訓練を通じた火災予防意識が高まった一日でした。



心に感じる人形劇

— 笠置保育所 —

三月八日、笠置保育所で人形劇団「ほつぺ」による人形劇が、所庭開放の幼児も招待して行われました。劇の題名は「ジャックと豆のつる」と「さむい、さむい、さむい」の2つでした。劇のあと、人形を見せてもらったり、動かすなどして楽しみました。心に感じる人形劇でした。



さようなら6年生

— 笠置小学校で送る会 —

三月四日、笠置小学校で六年生を送る会が開かれました。オープニングは六年生の力強い太鼓「おどりうち」が披露されました。開会式に続いて各学年の劇や歌の発表があり、見事な舞台発表に保護者から大きな拍手が起こっていました。最後に仲良し班の引きつぎ式と、歌のプレゼントとして「なごみはたから」を歌い、六年生との別れを惜しみながら閉会しました。

